

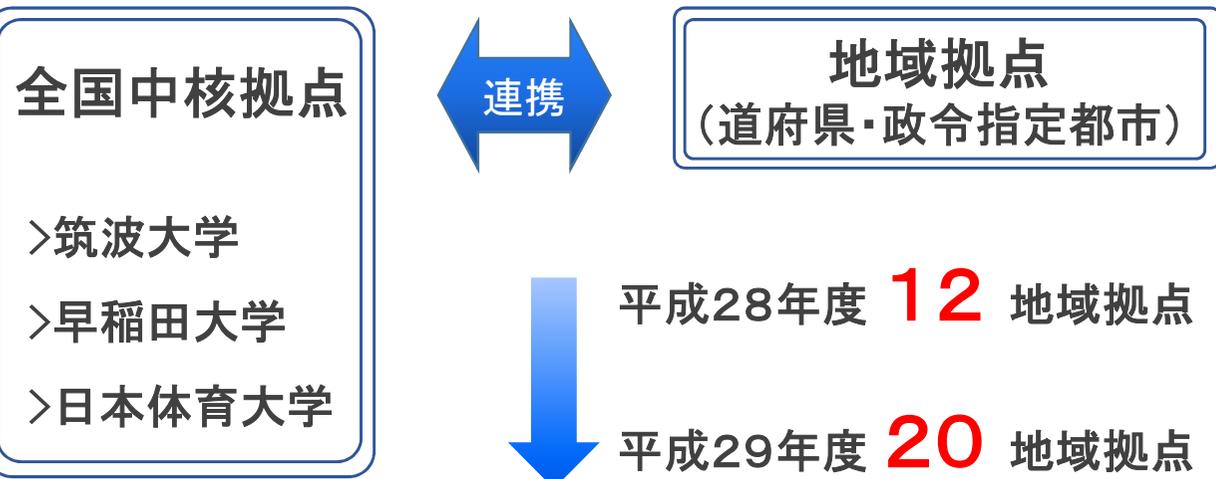
平成29年度 スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
日本体育大学 全国フォーラム

実践報告

平成29年度オリンピック・パラリンピック教育 (地域拠点の取り組み紹介)

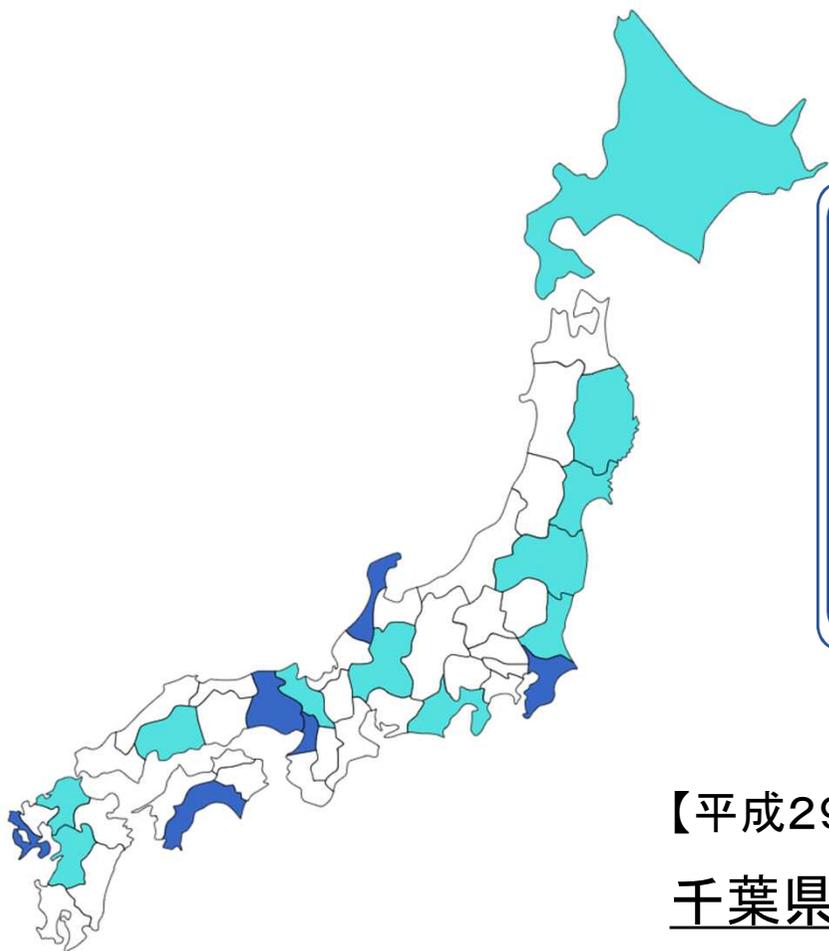


オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業



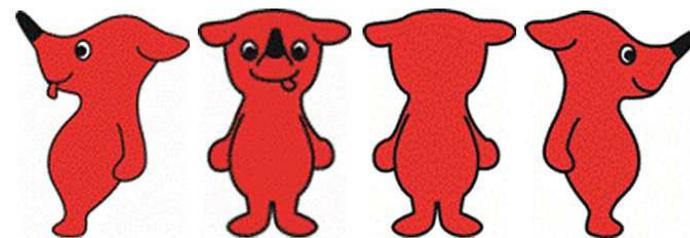
【平成29年度 日本体育大学 担当拠点】

千葉県、千葉市、石川県、大阪市、兵庫県、高知県、長崎県



1. 千葉県

千葉県：教員研修



1. 千葉県

千葉県の強み

1. 千葉県オリンピック・パラリンピックを活用した教育の取組方針：
4つのプロジェクト

おもてなし

心の
バリアフリー

スポーツ

グローバル

2. 開催競技（8競技）

競技会場	オリンピック	パラリンピック
幕張メッセ	テコンドー、レスリング、フェンシング	シッティングバレーボール、テコンドー、車いすフェンシング、ゴールボール
一宮町	サーフィン	

1. 千葉県

千葉県の目指すオリンピック・パラリンピック教育

次世代を担う子どもたちに、

国際感覚 や **スポーツの楽しさ** 、

ボランティア精神 、 **障がい者への理解** 等を身につけさせ、

大会後も無形のレガシーとして引き継いでいく。

教員向け研修の実践

①教員向け

「平成29年度グッと！オリパラ
～オリンピック・パラリンピック教育体験研修」

②指導主事向け

千葉県総合教育センター所員研修

1. 千葉県

「平成29年度グッと！オリパラ ～オリンピック・パラリンピック教育体験研修」

日程	平成29年8月8日(火)
目的	国や県の取り組みを理解 競技種目の魅力に触れ、学校におけるその教育の意識化 児童生徒の深い学びを実現できる力をつける
参加者	教諭 40名 (小学校15名、中学校6名、高校6名、特支13名)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講義(東京大会に向けての千葉県の取り組み) ・実技体験(フェンシング、ゴールボール) ・講義 ①「オリンピック・パラリンピック教育の推進について」 ②国際パラリンピック委員会公認教材『I'm POSSIBLE』を使った授業展開について



1. 千葉県

千葉県総合教育センター所員研修

日程	平成29年12月4日(月)
参加者	約100名 千葉県総合教育センター所員(主に研究指導主事)、 千葉県長期研修生、市町村教育委員会
内容	講演 「新学習指導要領におけるパラリンピック教育 ～IPC公認教材『I'm POSSIBLE』で広がる 「主体的で深い学び」～」 講師 マセソン美季



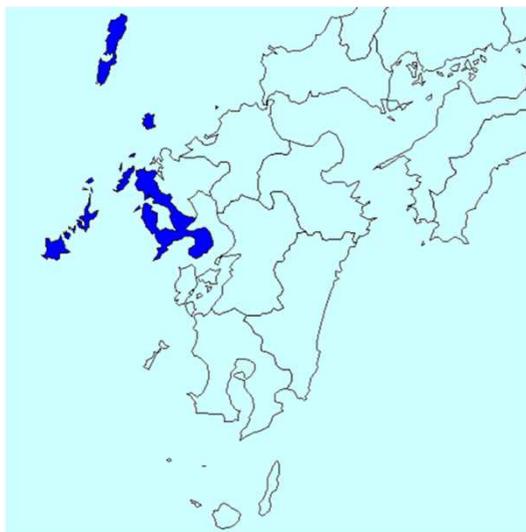
《成果及び課題》

- ◆教員の自主的な授業展開案の作成につながる。
- ◆県の教員研修の企画にあたり、継続的なオリンピック・パラリンピック教育を促すコンテンツの提供が可能となる。
- ◆学校に適切な指導・助言ができることにつながる。

- ◆研修の機会がまだ少ない。
- ◆オリンピック・パラリンピック教育とは何か？何をすればいいのか？それを示せる人が少ない。

2. 長崎県

長崎県：推進協力員



2. 長崎県

オリンピック・パラリンピック教育推進協力員

《ねらい》

- ◆ 事業終了後もオリンピック・パラリンピック教育を継続して実施できる人材の確保。
- ◆ 体育・保健体育におけるオリンピック・パラリンピック教育の充実やスポーツの価値教育の推進。

人的レガシー

2017年

2020年
(大会開催)

2021年～

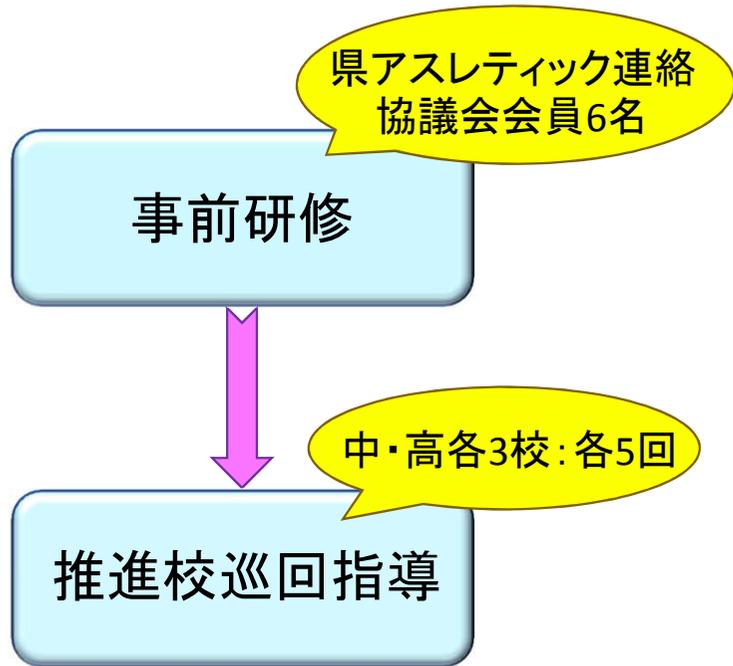
継続的なオリンピック・
パラリンピック教育の実施

2. 長崎県

スポーツの教育的価値とは？

自分の子どもにスポーツを習わせる？習わせない？理由は？

◎オリンピック・パラリンピック 教育推進協力員



3. 千葉市

千葉市：指導方法



3. 千葉市

千葉市について

- ・オリンピック・パラリンピック 7競技が開催
- ・パラスポーツ(障がい者)大会が頻繁に開催



オリパラ教育の実施



競技会場	オリンピック	パラリンピック
幕張メッセ	テコンドー、レスリング、フェンシング	シッティングバレーボール、テコンドー、車いすフェンシング、ゴールボール

3. 千葉市

◎パラスポーツに関する取り組み(重点事業) ＜学校教育における取り組み＞

平成29年度

H29.4月

オリパラ教育推進検討委員会を設置
パラスポーツ実施に向けた指導方法等を検討

(年5回)

H29.8月

教員向け実技研修を実施
ゴールボール、シッティングバレーボール

H29.9月
～12月

モデル校で実践
ゴールボール、シッティングバレーボール、
車いすバスケットボール等

小・中各7校



目指すは、体育・保健体育での
パラスポーツの実施

3. 千葉市

◎パラスポーツに関する取り組み(重点事業) <学校教育における取り組み>

平成29年度

H29.4月

オリパラ教育推進検討委員会を設置
 パラスポーツ実施に向けた指導方法等を検討

(年5回)

H29.8月

教員向け実技研修を実施
 ゴールボール、シッティングバレーボール

H29.9月
 ~12月

モデル校で実践
 ゴールボール、シッティングバレーボール、
 車いすバスケットボール等

小・中各7校



まずは、パラスポーツを「教員が学ぶ」
 → 教員が経験し、理解を深める

3. 千葉市

◎パラスポーツに関する取り組み(重点事業) <学校教育における取り組み>

平成29年度

H29.4月

オリパラ教育推進検討委員会を設置
 パラスポーツ実施に向けた指導方法等を検討

(年5回)

H29.8月

教員向け実技研修を実施
 ゴールボール、シッティングバレーボール

H29.9月
 ~12月

モデル校で実践
 ゴールボール、シッティングバレーボール、
 車いすバスケットボール等

小・中各7校



14のモデル校で「パラスポーツ授業」実施
 → 子どもたちの関心を高め、認知を図る

3. 千葉市

《成果及び課題》

平成30年度以降



体育の授業で実施していく
見通しが立った。



多くの研究会、研修会、
講演会等を実施

- ◆ モデル校での実践を踏まえた指導資料を作成
⇒ 全市立学校へ配布
- ◆ パラスポーツの実施を学校の実情に応じて順次拡大
⇒ 市立全小・中学校に取り入れる

4. 高知県

高知県：継続性を重視した計画

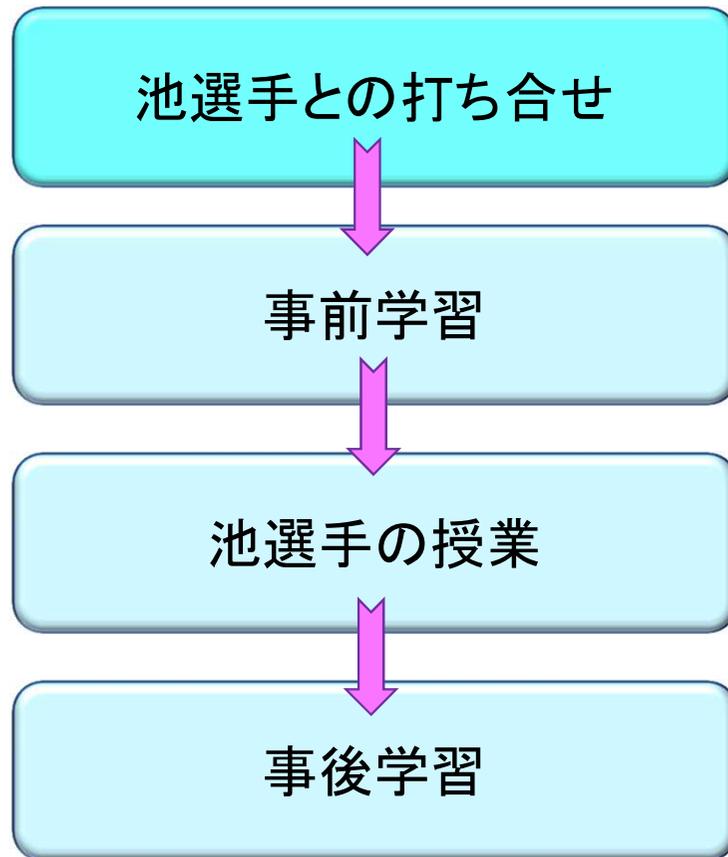


4. 高知県

- 県立学校4校
- 保健体育の授業で扱う
- 事前学習 + ゲストティーチャー + 事後学習 + 報告会

4. 高知県

◎選手との打ち合せを重視



選手と学校をつなぐ

- ・実情を伝える
- ・内容を一緒に考える

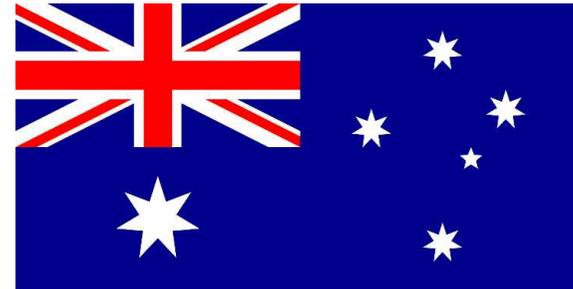


《継続的な学習に必要なもの》

- ◆関心 学校側のオリンピック・パラリンピック教育への**興味・関心**
- ◆計画性 事務局→学校とゲストティーチャーを**つなぐ**
学校 →「**授業計画**」を立てる
- ◆創造性 ①学校の持つ**特性**を活かす
②授業者の**アイデア**を活かす

5. 大阪市

大阪市:ホストタウン



5. 大阪市

大阪市交流計画概要

2016～
(大会開催まで)

2020
(大会中)

2020～
(大会直後～)

国際親善女子車椅子バスケットボール大阪大会にオーストラリアチームを毎年招聘
・地域親善交流会の実施(学校訪問など)



日本人オリンピック・パラリンピアン等との交流(学校訪問)

①講義(オリンピック・パラリンピック教育含む)

②実技指導

③オーストラリアの紹介

5. 大阪市

大阪市外国語指導員 (オーストラリア出身講師)との交流

◎ホストタウン構想との連携

事前学習

推進校
(小・中・高各1校)

ホストタウン交流事業
(2/13)

国際親善女子車いすバスケット
ボール大阪大会(2/15~17)



5. 大阪市

◎ホストタウン構想との連携

事前学習

推進校
(小・中・高各1校)

ホストタウン交流事業
(2/13)

国際親善女子車いすバスケット
ボール大阪大会(2/15~17)



《成果及び課題》

- ◆ 講師のプレゼンやゲームを通して英語を聞き取るようにしていた。
- ◆ 授業の進度に影響が出る。
- ◆ 1時間という短時間だったため、交流を深めることまでできなかった。
- ◆ 継続して行うことが望ましいが時間確保が難しい。

5. 大阪市

◎ホストタウン構想との連携

事前学習

推進校
(小・中・高各1校)

ホストタウン交流事業
(2/13)

国際親善女子車いすバスケット
ボール大阪大会(2/15~17)

女子車いすバスケットボール オーストラリアチームとの交流



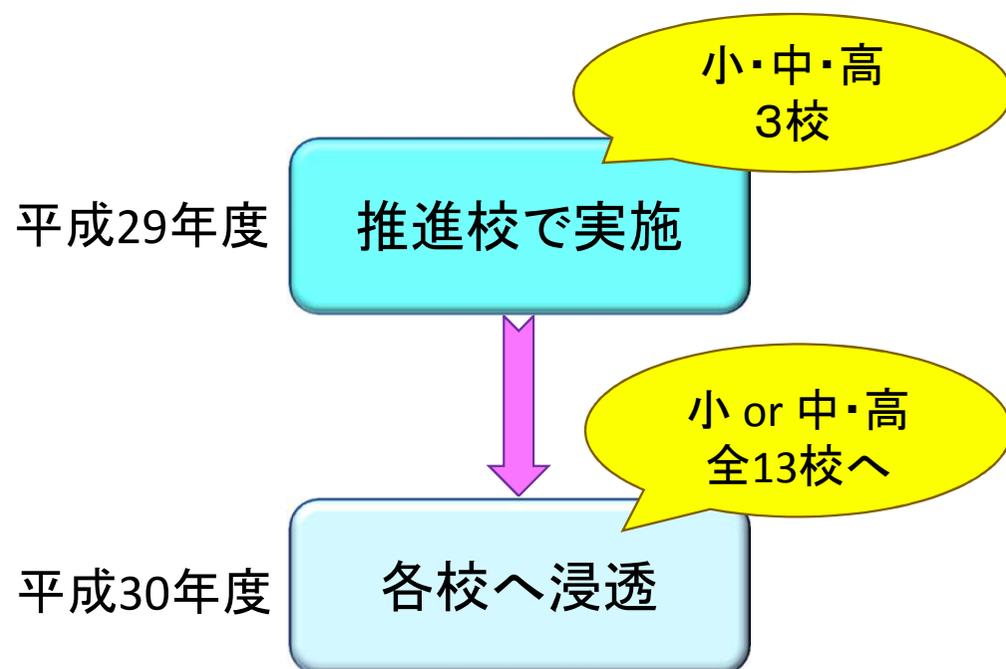
6. 兵庫県

兵庫県：授業での展開



6. 兵庫県

◎オリンピック・パラリンピック教育 教育推進校の取り組み



<実践内容>

(小学校)
車いすバスケットボールの体験学習

(中学校)
シッティングバレーの授業及び
講演会

(高等学校)
「2020年東京オリンピックに向けて」
の講演会

6. 兵庫県

シッティングバレーボールの実践(全12時間中、後半8時間)

	授業計画
1~7	バレーボール
8	オリエンテーション、コート設営、基本動作(移動、パス)
9	パス練習(1人、2人組、4人組)、サーブ・アタック練習、ルール変更協議
10	チーム分け、チーム(8~9人)練習
11	プレ試合、ルール追加変更協議
12	リーグ戦、試合運営

《成果及び課題》

- ◆ 生徒同士のコミュニケーション意識の向上
 - 他者(特に苦手とする)を受け入れる姿勢
 - 他者とのつながりに喜びを感じる
- ◆ 学習指導要領の範囲でないため、単独での実施や評価が難しい。
- ◆ 通常種目とのセットで体験させ、生徒の意識向上につなげて実施する。



7. 石川県

石川県：授業での展開



7. 石川県

《体育》校内マラソン大会



《保健体育、総合的な学習の時間》
オリンピック・パラリンピック競技新聞



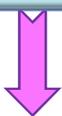
《総合的な学習の時間》
特別支援学校との交流(ボッチャ)



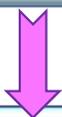
7. 石川県

《国語》マスコット投票

マスコットの役割等学習



グループ討議・発表



1人1票

マスコット投票、クラス候補決定



オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

全国中核拠点

- ＞筑波大学
- ＞早稲田大学
- ＞日本体育大学

連携

地域拠点
(道府県・政令指定都市)

平成28年度 **12** 地域拠点

平成29年度 **20** 地域拠点

平成30年度

